

2020筑波ツーリスト・トロフィー in JULY

公式通知 No. 2

JASC
J.A.S.C. Foundation

2020年 6月 30日

主催：一般財団法人日本オートスポーツセンター (JASC)

【注意事項 及び お知らせ】

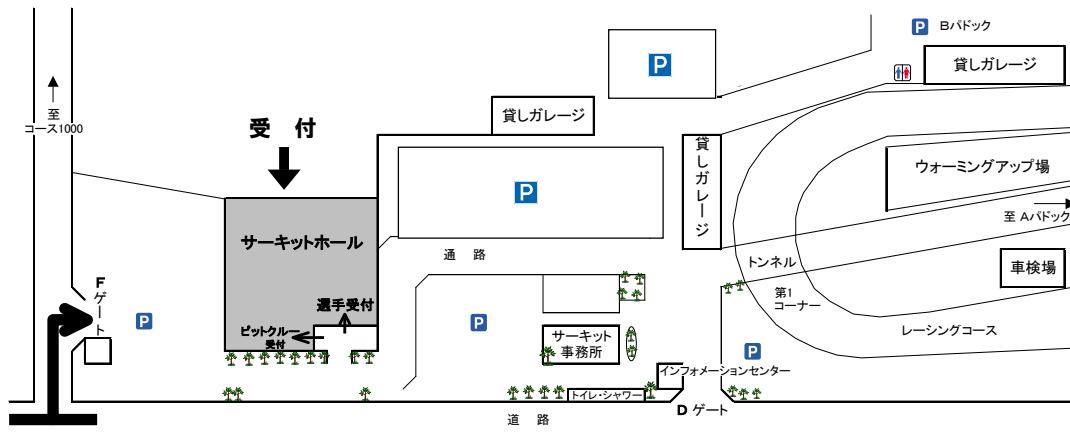
- ・ライダー受付時に、検温及び問診票の提出が必要となります。必ずライダーご本人が受付へお越しください。問診票の提出がない場合、レースへの参加は認められません。全て御記入の上、ライダー受付への提出をお願いします。
- ・予選終了後（チェッカー後）バックストレートでのスタート練習は禁止となります。スタート練習は、特別スポーツ走行日に定められている時間に行ってください。
- ・最終コーナー立ち上がり左側、赤白縁石外側の退避レーン（緑色の部分）は、走行時の転倒や接触を防ぐ為の緊急回避スペースとなり、原則通常走行レーンとしての使用は認められていません。これに違反した場合は、罰則の対象となる場合がございますのでご注意ください。また、一度路側帯へ出た車両がコースに戻る際の接触事故が発生しています。コース復帰の際は、細心の注意を払うようお願いいたします。

1. 駐車場

トランスポーターには必ず駐車券を掲示して入場すること。それ以外は一般駐車場(有料)に駐車すること。

2. ライダー受付（筑波サーキットホール）

- (1) 時 間：タイムスケジュール参照（公式車検の時間の早いクラスを優先して受付を行う。）
- (2) 提示物：①2020MFJ競技ライセンス(提示できない者は理由の如何に関わらず参加できない。)※Frontier2は当該出場クラス区分の証明ができる物
②参加受理書 ③車両仕様書・装備申告書（無記入の書類では受付できない） ④問診票
※健康保険証は、各自必ず所持すること。
- (3) ライダー受付時に、検温を行う。必ずライダー本人が受付を行うこと。



★連絡車は自転車に限る（ミニバイク・スクーター等は禁止）。

3. ピットクルー受付

- (1) 今大会は、MFJピットクルーライセンスの確認は行わない。(ピットクルー受付は行いません)
- (2) 参加受理書に押印済みのピットクルーパスを同封する。ピットクルーとして登録されていない人がパスを使用するなど、不正が発覚した場合には、その当該ライダーとピットクルーに罰則が科せられ、次回以降の大会に参加できない。
配布されたパスは、常に見える位置に装着すること。
- (3) ピットクルーの変更がある場合は、必ずピットクルー受付に変更を申し出ること。
変更料は、MFJライセンス所持者は、1名につき1,100円、ライセンスが無い者は1名につき2,200円とする。
- (4) ピットクルーの追加は、保険の関係上できない。
- (5) 事前販売したパスではピットレーン、スターティンググリッドへの入場はできない。

4. ウォーミングアップエリア

ウォーミングアップ場の使用は、AM7:20からとする。入場できるのはライダーおよびピットクルーに限られ、安全上適切な服装をすること。また、暫定表彰式などの理由によりエンジンを停止させることがあるので、随時オフィシャルの指示に従うこと。尚、エントラント駐車場、ガレージではエンジン始動できないので注意すること。

5. 公式車両検査

- (1) 時 間：別紙タイムスケジュール参照
- (2) 場 所：Aパドック内車検場 ※車両検査：車検場内 / 装備検査：車検場横特設テント

- (3) 提示物：①参加車両 ②車両仕様書（受付印済みのもの）③装備申告書（受付印済みのもの）④ヘルメット ⑤レーシングスーツ
 ※18歳以下の選手はエアバッグ（MF Jに登録されているエアバッグを装備検査に持参すること）
 ※今大会の装備検査は、ヘルメットおよびレーシングスーツ（MFJ 公認マーク確認）のみとなります。
 ※18歳以下の選手は、MF Jに登録されているエアバッグを使用（着用）しなければならない。
- (4) アンダーカウル付きの車両は取り外した状態で車検を受け、外したアンダーカウルも持参すること。
- (5) センタースタンド・サイドスタンドは、必ず取り外すこと。
- (6) 車載カメラの搭載を希望する場合には、車両仕様書の申請欄に署名し、事務局確認印を得ること（2台目以降のカメラ取り付けは有料）。また、カメラを搭載した状態で車検を受けること。カメラはカウル内に収めるなど突起物となってはならない。走行中に脱落した場合には罰則（罰金を含む）を科す場合がある。
- (7) **トランスポンダーを搭載した状態で車両を持ち込むこと。取り付け場所は、メインフレームピポッドシャフト付近とする。**
 （トランスポンダー及び取り付けホルダーの破損、紛失については、実費をお支払い頂きます。本体（税込）：50,000円/ホルダー（税込）：1,000円）
- (8) 車検に合格すると、車検合格ステッカーがマシンに貼付けられる。ステッカーが無い場合には出走できない。
- (9) 車検時に申告した内容（装備を含む）に変更がある場合には、必ずその内容について車検長に申告し再車検を受けること。

6. ピットボックスの使用について

- (1) 走行クラスごとに使用するピットボックスの割り当てを行う。各自、Web エントリーマイページもしくは郵送書類にて確認すること。
- (2) ピットボックスを使用できるのは、予選・決勝を通じて行われているその当該クラスのチーム、ライダー、ピットクルーとする。
- (3) ピットボックスを使用できる時間は、その走行している時間とし、その前後10分を目安に入れ替えを行う。走行終了後は速やかに次のクラスが使用できるようにすること。
- (4) **多量の電気を必要とする場合は、各自で発電器を用意すること。タコ足配線は厳禁とする。**
- (5) **上記で使用している時間以外、ピットボックス内にマシン・工具・荷物等を置いておくことは禁止される。**
 ※割り当てのない、1～9番ピットボックス内も、マシン・工具・荷物等を置いての占有は禁止される。

7. コースイン・コースアウトの補足

- (1) 予選のコースインは、コントロールタワー脇Bゲートに加え、ピットボックス開口部よりマシンをピット前作業エリア（黄線よりピットボックス側）に入れることができる。他クラスの予選中はピット前作業エリアにマシンを入れることはできない。ピットエリアにマシンを入れるタイミングはオフィシャルの指示に従うこと。尚、スタート前チェックエリアは各予選10分前より準備スペースとして使用することはできる。また、予選時間内であればトラブルなど特別な理由の場合は、ピットボックスおよびパドックに入った後もコースに復帰できる。
 ※予選終了後は、Cゲート（ピットレーンエンド）からコースアウトすること（直接ピットボックスに入ることはできない）。
- (2) 決勝レースのコースインは、Aゲート（最終コーナー側）より行い、コースアウトは、Cゲート（ピットレーンエンド側）より行う。

8. ピットレーン先端（ピット前）シグナルライトについて

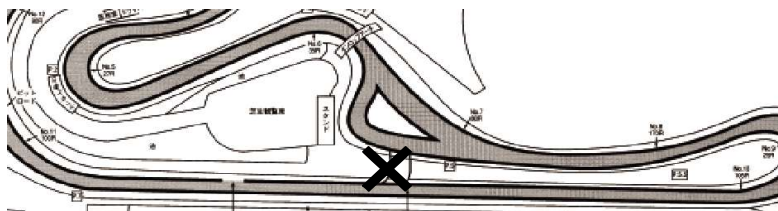
ピットレーン先端のシグナルライトは、緑（コースイン可）、赤（コースイン不可）となる。無灯の場合は、緑灯と同様に扱う。また、**公式予選またはレース中は常にピットレーン出口で青ライトが点滅される。**

ピットレーンでは十分減速すると共に、コースインは走行車両との合流に対し最大限の注意を払い、各自の責任において行うこと（**第1ヘアピンをクリアするまでコースの右側を走ること**）。

9. ピットレーン走行時の注意事項

ピットレーンでの違反は重大な事故につながる場合がある。ピットインの際は周りに十分に気を配り、スピードを落とし常に停止できる状態で走行すること。尚、**ピットレーンの制限スピードは40km/h以下**とし、違反した場合には罰則が科せられる。また、サインマンおよびピットインした当該車両のメカニック以外はピットレーンに出るはならない。従わない場合にはその当該ライダーに罰則が科せられる。

10. 予選・決勝を通してショートカットの使用は禁止される。使用した場合にはペナルティが科せられる。



11. 出走嘆願書/リタイヤ届について

- (1) 出走嘆願を希望するライダーは、**予選暫定結果発表後30分以内**に出走嘆願書を大会事務局（サービスセンター2F）に提出しなければならない。但し、**予選に出走していないライダーの出走嘆願は受け付けられない場合がある。**
- (2) 申請された書類に対し、決勝レースへの出走の可否が審査委員会にて審議される。その結果はグリッド表にて発表する。（すなわち、グリッド表に名前が記載されていたら出走可能となる。）
 尚、**グリッド表は予選暫定結果発表後30分以上を経過した後に発表される。**
- (3) 決勝レースに出場できないライダーは、必ずリタイヤ届を大会事務局まで提出しなければならない。

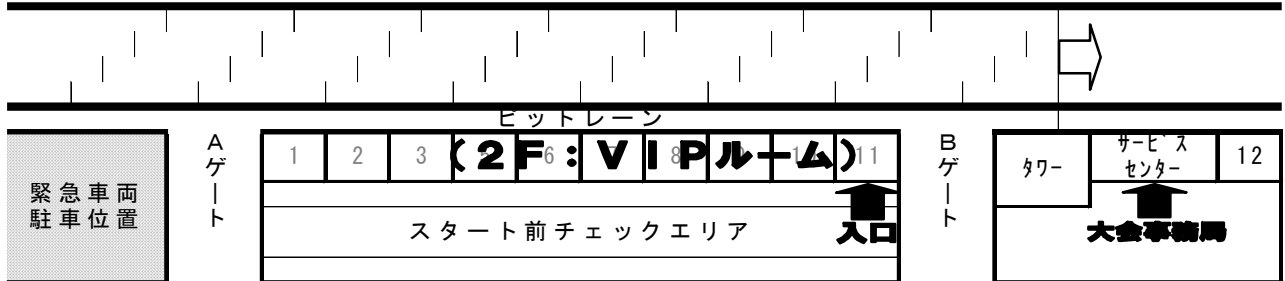
12. 決勝スタート前チェック

- (1) 決勝スタート前チェックは、**スタート予定時間の25分前に開始し、11分前に終了する。**
尚、時間内に届出または、連絡のないそのライダーはオフィシャルの判断によりリタイヤとみなされる。
- (2) スタート前チェックを済ませたあと、マシンをその場所から移動させてはならない。
- (3) 同時にヘルメットチェックを行うので、必ずヘルメットをスタート前チェック時に持参すること。

13. プリーフィングについて

プリーフィングをVIPルームにて行う。決勝レースの進行方法、注意事項、最終的な重要事項の確認を行うので、開始時間前に必ず集合すること。**出席しなかった場合は、罰則が科せられる。(欠席：5,000円 / 遅刻：2,500円)**

※複数クラスにエントリーし、タイムスケジュールの都合でプリーフィングに参加できない場合は、必ず事務局に申し出ること。



14. ウォーミングアップラップスタート方法

- (1) 2分前エンジン始動 (正規の位置後方よりエンジンをかけ、正規の位置に待機)
- (2) オフィシャルの振動するグリーンフラッグでスタートし、1周してグリッドに整列する。

15. 決勝レース

- (1) 決勝レースのグリッド配列は3・3・3・3……の階段式とする。
- (2) スタート手順
 - ①Aゲートよりマシンを押してコースインし、各自指定のグリッドに整列する。
 - ②グリッド上でタイヤウォーマーの使用およびタイヤウォーマー用にジェネレーターの使用が認められる。マシン1台につきハンディタイプのジェネレーター1台迄可能とし、車両の後方に置いて使用すること。また、水温上昇防止及び体調管理(熱中症予防)を目的とした、扇風機(サーキュレーター)の持込も可能とする。但し、スタート進行遅延の原因となる場合は、規則を変更する場合も有る。
 - ③ウォームアップ「3分前」のボードが提示される前に、全ての作業・調整(タイヤウォーマーの取り外し含)を終了しなければならない。
 - ④ボードの合図でエンジン始動、ウォーミングアップラップ開始。
 - ⑤再び各自指定のグリッドに整列(エンジンは始動したまま)。
 - ⑥全車グリッドに整列後、フラッグタワーよりシグナルの合図にてスタート。
- ※ピットクルーは、エンジン始動後すみやかに自分のピットに戻ることに。
- ※スタートでエンジンストールした場合、全車スタートし安全確認後、オフィシャルのみが再スタートの補助を行う。ピットクルーの補助は禁止する。
- ※その他、正常にスタートができない場合には、随時オフィシャルの指示に従い行動すること。
- (3) タイムが甚だしく劣る者は黒旗でピットインさせる場合があるので、提示された場合には速やかにオフィシャルの指示に従うこと。

16. 競技周回数

クラス	周回数	完走周回数	成立周回数
全クラス	10L	7L	6L

17. ジャンプスタートの罰則について

- (1) ライドスルーペナルティ
 - ①当該ライダーに「RIDE THROUGH」の文字の下に車両ナンバーを付した一体型ボードと黒旗を同時にコントロールラインで提示する。
また、ピット側にもこれを提示しピット通告とする。
※RIDE THROUGHボードと黒旗の同時提示は、筑波サーキットでのみ行なわれる表示方法である。
 - ②当該ライダーは、レース中ピットレーンを通過するよう指示される。途中、停止することは認められない。
 - ③ボードが提示されてから3周以内にピットインせず、ペナルティを実行しない場合、当該ライダーは失格となる。
- (2) 競技結果への30秒の加算。
- (3) ペナルティボードは5.5Pでも提示される。

18. 違反行為に対する罰則について

- (1) MFJ国内競技規則に準ずる。
- (2) パーツの落下やオイル漏れが、他車の転倒の要因を作ったと認められる場合、当該選手に罰則を科す場合がある。

19. 車両保管

各レース終了後に、各クラス**正式賞典対象順位**まで車検場にて車両保管を行う。暫定表彰式後に、オフィシャルの指示に従ってマシンを移動すること。尚、車両の盗難防止の為、**車両保管解除後のマシン返却の際、ライダーのMFJライセンスまたは運転免許証等の身分証明が可能なるものを必ず持参すること。**

20. 暫定表彰式

- (1) 各レース終了後、総合順位1～3位のライダーを対象に、コース上メインスタンド前にて行う。
但し、スケジュールの都合によりパドック等で行う場合がある。

ク ラ ス	表彰順位	ク ラ ス	表彰順位
NT2	総合	NM	1～3位
N250F	1～3位	Battle Of The Twins (ACT)	総合
NS2	総合	NT1	1～3位
TN2	1～3位	Frontier2	1～3位
NS1	総合 1～3位	KTM390/250CUP	総合 1～3位
MS1		Battle Of The Twins (WCT)	総合
TN1		Multi Import (MIP)	1～3位
NB	1～3位		

- (2) ノンアルコールシャンペンを使用するが、少量のアルコール(0.49%)が含まれているので、未成年及びレース後に運転する場合は飲まないこと。

※暫定表彰式への入場は、「ライダー/ピットクルー/スポンサー」の各バスをお持ちの方のみに制限いたします。ご理解いただきますようお願い申し上げます。

21. 賞典

決勝正式結果発表後、下記のライダーに正賞の楯を授与する。

ク ラ ス	表彰順位	ク ラ ス	表彰順位
NT2	1～3位	Battle Of The Twins (ACT)	1・2位
N250F	1位	NT1	—
NS2	1～3位	Frontier2	1～3位
TN2	—	KTM390CUP (CUSTOM)	1・2位
NS1	1位	KTM390CUP (STOCK)	1位
MS1	1位	KTM250CUP (STOCK)	—
TN1	1位	Battle Of The Twins (WCT)	1・2位
NB	1～3位	Multi Import (MIP)	1位
NM	1・2位		

全レース終了後の正式表彰式は行いません。賞品は決勝正式結果発表後にサービスセンターにてお渡しいたします。MFJライセンスもしくは本人であることが証明できるもの(運転免許証等)を必ずご持参ください。受け渡しは大会終了時までとし、終了後は受け取りを拒否したものとみなします。

22. 医療施設の利用義務

- (1) 負傷した場合は最初に施設の医務室で診断を受けること。**医務室に診断記録がないと保険がおりない場合がある。**
(2) 指定病院 : 茨城西南医療センター病院 〒306-0400 茨城県猿島郡境町2190 TEL:0296-87-8111

23. Aパドック内フリースペースについて

Aパドック内で有料スペース以外にテントを設置することができるエリアは別紙の通りとし、指定された区域以外を使用することはできない。テントは2m程度の間隔を開けて設置すること。横幕の使用は禁止とする。

お知らせ① パドック間のコース横断・往来について

パドック間でコース往来ができるようにいたします。これは、Bパドックおよびメインスタンド裏の利便性を高めるために行います。下記の部分を横断できるよう各走行のインターバル時に開放する予定です。横断する場合は係員の指示に従うようお願いいたします。

1. Bパドック(1ヘアピン側ゲート) ⇄ Aパドック(ドライバースタンド側ゲート)
2. メインスタンド側駐車場(P4) ⇄ Aパドック(ガソリンスタンド脇)

※2について P4はエントラント駐車場ではございませんので主に一般のご来場者様へのサービスとなります。

お知らせ② 特別に許可した場合を除き、筑波サーキット内へのドローン(無人飛行機)の操縦・飛行等は禁止です。

お知らせ③ Aパドック内ガソリン給油所 営業時間 7月17日(金) 7:00～16:30 / 7月18日(土) 6:30～16:00

本通知に記載のない事項は、MFJ国内競技規則および2020筑波ツーリスト・トロフィー特別規則書に準ずる。



2020筑波ツーリスト・トロフィー
大会事務局長 渡邊 徳仁